

# 大原中だより

さいたま市立大原中学校

☎ 048-831-5397

FAX 048-835-1357

第 4 号

はつらつとした学校、地域に輝く学校

平成27年7月1日(水)

メールアドレス:ohara-j@saitama-city.ed.jp ホームページ:http://ohara-j.saitama-city.ed.jp/

## ゆとりを持って成果を待つ

校長 安藤 盛光

梅雨入りしてからはっきりしない天気が続いています。梅雨というと、しとしと続く雨をイメージしていましたが、最近は局所的に強い雨が降ったり、大雨が続いたり大分梅雨に対するイメージも変わってきました。校地内では紫陽花が咲き誇っています。大原中にはこんなにも多くの紫陽花があったのかと今さらながら驚いています。以前の学校だよりで「テニスコート脇の梅の花がきれいです」と書きましたが、その梅の木に多くの実がなりました。梅の実がなる頃の雨だから「梅雨」と言うのでしょうか？そんなことを考えながら、落ちた梅の実を拾い集めて、ジャムを作ってみました。別の場所ではざくろの実が日増しに大きくなっています。



期末テストも終わり、1年生は7月3日(金)には鎌倉方面で校外学習(グループ別活動)を行います。いよいよ夏休みまでカウントダウンとなりました。今年7月17日(金)が1学期の終業式、2学期の始業式が8月27日(木)ですので、ちょうど40日間の休みとなります。今年度も小学校と終業式、始業式がずれておりますが(小学校は終業式7/23・始業式9/1)、来年度以降は小・中学校の日程が同じになります。



夏休みに入るとすぐに行われる県大会には、本校から多くの部や個人が出場します。これから暑さが厳しくなりますが、暑さに負けずにさらに上の大会を目指してがんばってください。夏休みにはあれもしようこれもしようやりたいことはたくさんあると思います。多くの時間が取れるのも夏休みの大きな魅力です。私は文章を書くことが苦手です。文章で表現することにコンプレックスを持っていました。いつかは苦手意識を克服したいと考えていましたが、なかなか手がつかないものです。そんな時、ある先生(本校でも教鞭をとられた岩上進先生です)から、山本有三の戯曲「米百俵」の本をいただきました。

北越戦争(戊辰戦争の一つ)に敗れた長岡藩は財政が窮乏し、藩士たちはその日の食にも苦慮する状態でした。見かねた三根山藩が米百俵を援助することにしたのです。しかし藩の重役小林虎三郎は贈られた米を藩士に分け与えず、学校設立の費用にしてしまったのです。藩士たちは、小林虎三郎のもとに押しかけ、抗議をしますが、「百俵の米も食べばたちまちなくなるが、教育にあてれば、明日の一万、百万俵となる」と毅然とした態度で論じます。この戯曲の感想文を時間をかけて何度も書き直してみました。文章を書くことに少しだけ苦手意識が薄れた気がしました。「米百俵」の話はその後、小泉首相が所信表明の際に引用したことから有名になりました。

誰にでも得手、不得手があるものです。スポーツが得意、勉強ができる、歌が上手、絵が上手、数字に強い等、またその逆の人もいます。夏休みには今まで出来なかったことに時間を使ってみてはどうでしょうか。昨今は、すぐに成果が求められることが多くなっていますが、勉強は本来時間がかかるものです。家庭でも、学校でも、地域でもゆとりを持ってその成果を待ちたいと思います。

本年度も大学生スクールアシスタントとして、五十嵐久二さんが6月よりお手伝いして下さることになりました。火曜日と金曜日に来校しています。よろしくお願ひします。